

長崎後方物語 一

花百斗
西莊文庫
全五

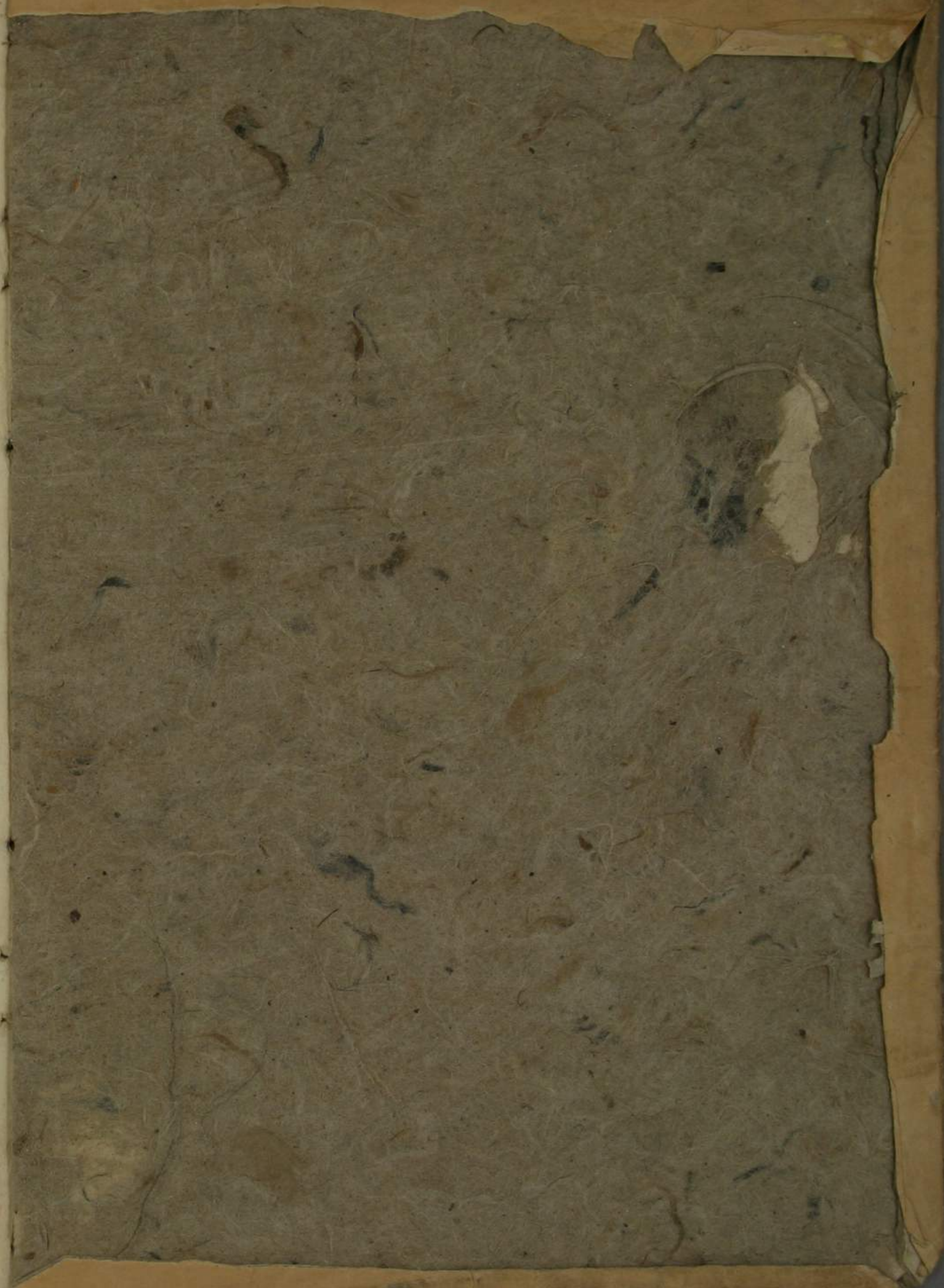
13
1695
1



1832
9



予。父河山。法のつ。蒼。一。世。これ。色。
 く。箕。山。の。一。軌。我。を。ま。り。こ。自。陽。秋。
 巖。在。く。も。危。て。何。能。と。も。免。ん。ふ。か。る。
 と。形。く。密。乃。も。指。し。故。人。今。在。く。も。亦。福。
 と。の。一。り。唯。眩。を。曲。く。抱。こ。し。目。見。給。毎。
 不。六。鶴。の。昔。の。切。の。物。決。然。と。う。し。ん。せ。
 人。其。か。さ。り。の。多。れ。我。を。集。く。と。う。し。ん。せ。
 則。吾。咽。の。在。る。物。と。う。し。ん。せ。思。給。と。う。し。ん。せ。



1695
I



多の父片山に伝ふ一ツ菴より世をたはま
 く箕山乃一瓢衣をまみり首陽に
 巖茂くそ死て何れとと先こひさ
 毛彩く染つて赤く衣人の丸く赤
 とひら唯脛を曲く枕こく目覚む毎
 下八鴨乃持れり物持たせり
 人妻心かこりり形茂く集くこり
 則ち明く採見物こりり名付く沈



乃能去跡一をきき無のい屋をきく(三)
 といとおくみぬくた飛まうくわ
 というハ勢母とく好梓子ちりこを海
 世もこ少草にまゆゆるるる人唯
 我の心さうつたの物事おと
 勢ひさう飛まひのいとく
 へ兼てくハ書女もわこい血流る
 へおとく家くハ物にハかた(四)

鴨長谷の後之物語目録

才一
 比やん ちん おとこらうてらわ
 昆沙門修行 不置も徳事
 好も男美時心後なる事
 的宗あたらしくき好事
 女把山伏死守なる事
 仙術まふびとこなる事
 才二
 中院の伝男成嫁事

葉きつねのこころなる事

才三

道のりきまをたふし
道則女よ魂はうなる事

忠度女よかゝる事

異形なれば法外なる事

才四

まうごのそうをえり
妄語偽女よたごころなる事

女よ賢人たごころなる事

盗人女は借賃よ救なる事

高き平阿弥様らなる事

不貞とよよあはれなる事

堪能ハ一心よなる事

真成して仇なる事

才五

此乃夏の事

念ひて夫とみなる事

洞ハ五月の苗代なる事

聲よある鳥なる事

甲辰
にやのまけはひのふ
大矢之助武信事

大矢之助武信事
長徳二年此は一系掛川のありしは本鳥帽子他を
きこよ齋するのびやん紙。修一毎月木の子系備
ある凡十ヶ年まとおふり。い者たの月れよよを
なる後此年月の下まてさぶのきれはさきく是をさく
かしとせり。お討人のありしころはあがらるを
鞠をたあしりまんと。ころのひごもあつてんを
おふ人のあしとなし。さんくさく海りまきるがしひ
しやん人の林すんぐおあしりまきるまはらで。

鴨長波寝えお徳一

長徳二年此は一系掛川のありしは本鳥帽子他を

きこよ齋するのびやん紙。修一毎月木の子系備

ある凡十ヶ年まとおふり。い者たの月れよよを

なる後此年月の下まてさぶのきれはさきく是をさく

かしとせり。お討人のありしころはあがらるを

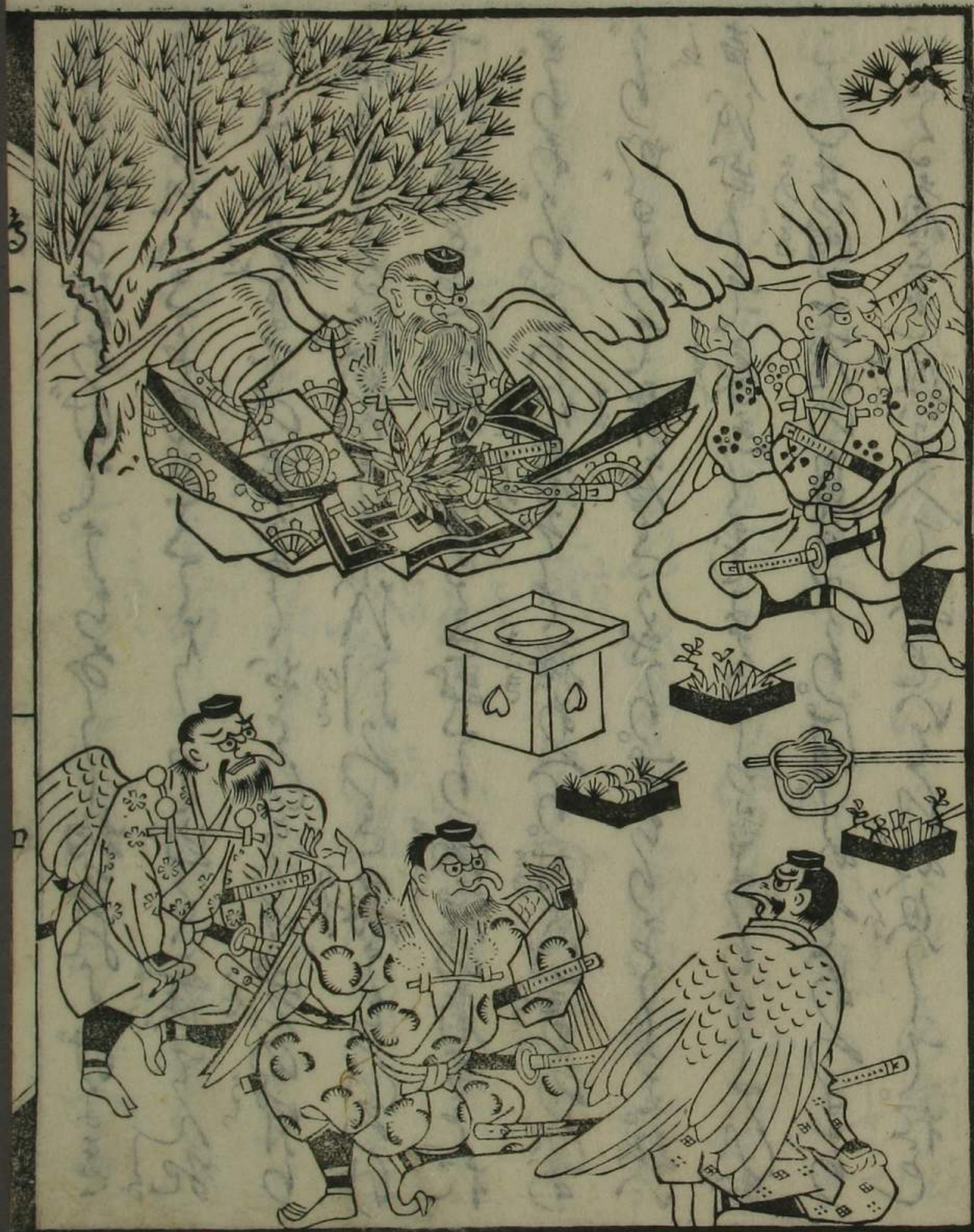
鞠をたあしりまんと。ころのひごもあつてんを
おふ人のあしとなし。さんくさく海りまきるがしひ
しやん人の林すんぐおあしりまきるまはらで。

甲
らん事とびびり〜と抱ひて。そむよりすぐ
よは山よりとく移んころ。おづつと替りて改むる
り俄ちくすりち改してゆく。海といふまゝと
り心。わたりつる河のやうなる心あり。たそり
あがりき申し。うすくまのをりきり。江流よ海
はら山をく〜して。目ハ驚ききり。海かきき
と。おかし物だせん。さく愛よと。音はあ
みんこと波やうあきれも。なかく目とあり。さ
きり。わ〜りつる河の流とつ〜みんとおひとろ
山のわ〜りつる声。おかく〜して〜するは

男す〜りきり。つて。わ〜りつる人
氣は波よ出て。海と〜して〜りみんこと。波は
いし。わ〜りつる〜して〜も。あ〜く人の〜ら
〜。〜して〜ひて鼻の〜んぬさす出てあ
肩〜らり。その〜ひのやう。改むの〜ら。き
さめ〜り。つる〜。あ〜ら。の回めし人
た〜ら。お〜り。つて。波のあ〜り。改む
懐より何うか。〜。改む。〜。改む。〜。
きり。お〜火。出〜ら。それ改む。改む。の〜。〜。
〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。

甲 二
と。あはれぬ所あり。中をいへくもる者
と。なとゆふ。あはれぬ所あり。それらりて。い
波身よあまをこりきね。げ男目とくれ。心とそ
よなり。おがく。お入る。そ名する。あづりありく
小竹持あんど。お出して。酒はあふ。ありのぬ
皆家く。のすか。なれ。く。也。な。か。り。ま
りて。た。こ。解。る。ぬ。なり。其。時。末。を。お
し。か。り。の。男。一。人。出。く。本。の。系。よ
て。他。り。こ。る。園。は。持。く。た。り。き。か。り。て。こ。し
舞。上。座。の。か。い。よ。び。り。て。す。り。揚。げ。か。め。ま

い仕舞き。おの。た。の。者。あ。こ。り。た。れ。る。ぬ。れ。り
そ。ま。り。波。身。よ。舞。する。あ。り。く。も。る。と。あり。お
り。り。く。よ。い。あ。り。と。わ。り。き。り。た。な。よ。り。鼻
さ。の。い。よ。も。う。ま。の。は。あ。る。び。り。と。い。よ。ま。す。い
あ。り。ま。れ。あ。れ。も。め。づ。り。か。り。ん。あ。ま。で。を
い。い。あ。ん。さ。く。よ。は。男。の。つ。り。り。き。ら。あ。ま
ま。い。目。ま。ひ。や。と。ん。は。舞。ん。ど。き。る。其。神。の。行
あ。ま。の。い。ま。り。や。あ。れ。り。と。い。ま。出。く。舞。を
や。と。物。心。つ。と。き。り。あ。れ。と。い。度。の。ゆ。い。れ
て。出。づ。り。き。ら。は。枝。者。と。解。り。何。と。あ。り。て。反



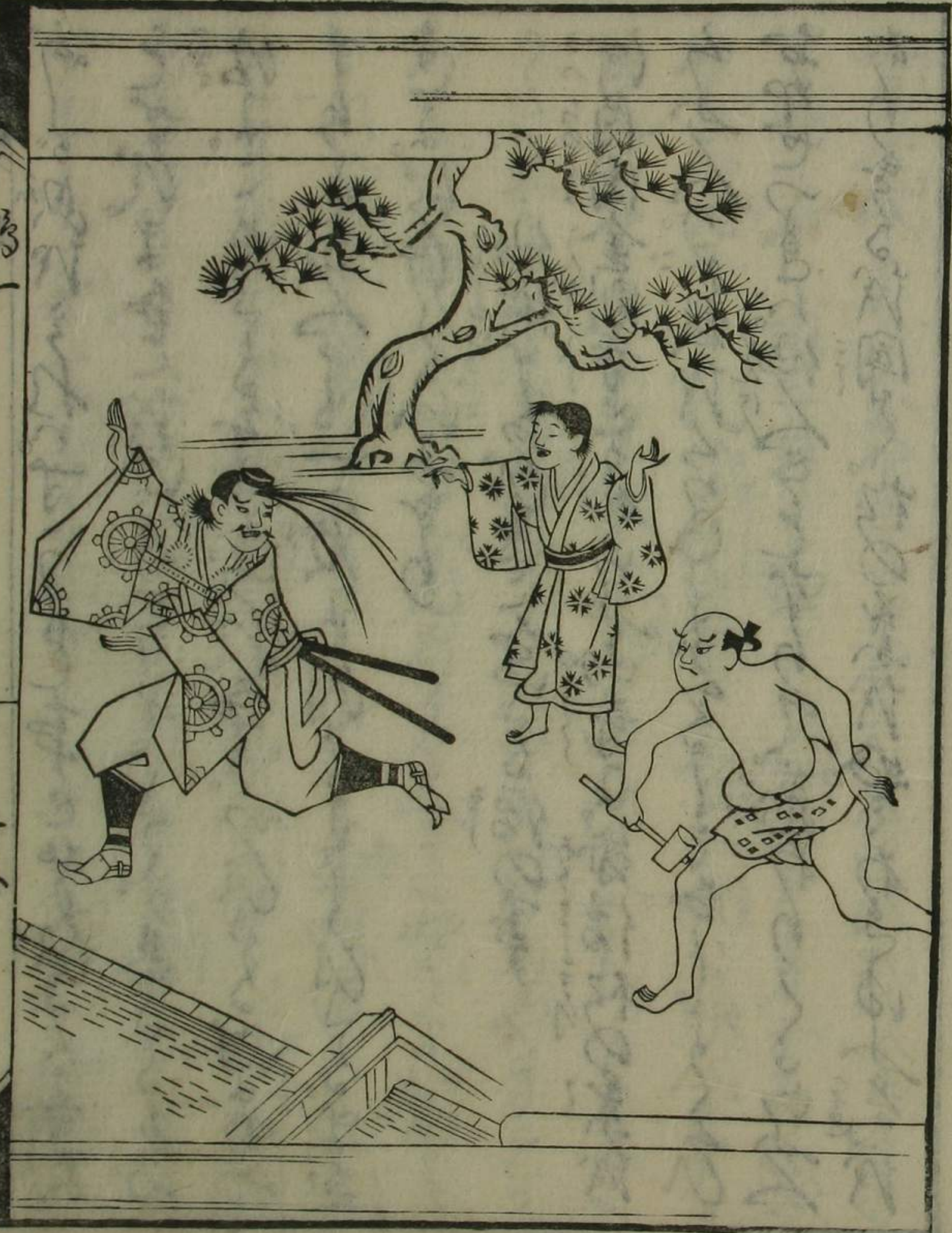
縁うちうけまゝといふ事とありきりの道に
 もよもやあらざればとておぼへてふけぬ
 まふかへてあるまじき事とて一撃致して
 きておげのきり。うらなひなくあまほし
 ととおろなり。おのゝ事とてゆるらつ家。
 女房のふるまひとて事あり。ゆゑ色好た
 つふりこの男のありやうとて見えしとて
 け家おのゝ事
 けんまきげゆのくえんあまほ
 堀川院の法阿部解由次官の家とて。あまほ
 のよもやあらざればとてゆゑにけぬ人の



とう。何れも。奥あんに。勝まつけ。湯だつき。や
 し。本家の内よさを入るる。あつた。い。あ。あ。あ
 ぞ。い。い。き。れ。ば。光。日。比。白。山。よ。ゆ。り。つ。る。が。い。な
 ん。ざ。け。へ。ま。り。り。て。今。二。十。日。つ。あ。い。さ。ん。と。お。ひ
 つ。さ。う。あ。い。さ。ん。つ。ま。り。て。ゆ。る。あ。い。さ。ん。ま。り。あ。い
 か。ん。さ。そ。か。く。あ。ゆ。る。し。わ。げ。あ。い。さ。ん。を。さ。ら。き
 か。は。れ。れ。顔。ま。ゆ。の。あ。い。さ。ん。に。す。こ。り。の。お。わ。り。い
 ま。い。ま。い。ま。い。あ。い。さ。ん。付。ま。り。い。さ。ん。の。
 ひ。い。の。さ。ら。い。あ。い。さ。ん。ご。と。さ。う。あ。い。さ。ん。と
 さ。う。さ。い。し。を。出。し。て。い。い。ま。い。い。ま。い。あ。い。さ。ん。の。心

とう。た。あ。く。て。神。仏。の。お。お。と。き。ま。り。い。さ。ん。あ。い
 去。年。の。林。け。さ。ら。い。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん
 かり。地。獄。ま。ち。ち。か。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。た。び
 教。よ。つ。げ。り。い。ひ。ち。百。日。の。間。は。遠。来。記。に。依
 一。万。遍。書。す。れ。ば。集。り。顔。ま。い。さ。ん。あ。い。さ。ん
 付き。て。い。ひ。き。事。よ。し。と。ゆ。る。是。の。お。お。の。あ
 び。ま。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ
 い。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ
 ざ。り。あ。い。さ。ん。一。万。遍。の。陀。羅。尼。書。う。ん。紙。と。い。ま
 わ。す。る。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん。あ。い。さ。ん

すうたごましくやみやへすめたむらぬ
 小者のぬとげへて来たてい山うへにやんく
 わさうさうさうこのは作やなんでう。隠来陀能
 屋敷こめんもかぞ。あまの七条町は池の冠者
 の家のひんがしあまのいづの書あみそりく
 又入うきるやぶよはま入うこりきる時
 男れいづ。ふらあういづきれ。らるものど
 了あむどあげて。西へうへに返つあて。さ
 植ふて顔はうらうさうを。それうと
 みーそとらみけあまのいづの書あまのいづの書



あつておぼろにむす。かへしむ事とせしむる事
とせしむる事とせしむる事とせしむる事
とせしむる事とせしむる事とせしむる事
とせしむる事とせしむる事とせしむる事
とせしむる事とせしむる事とせしむる事
とせしむる事とせしむる事とせしむる事
とせしむる事とせしむる事とせしむる事
とせしむる事とせしむる事とせしむる事

仙術よあびそこある信の事

河内國金剛寺とやう山寺よ。本僧松の葉に
くみん。又穀にらひひ。くみん。くみん。くみん
おやせしむる。仙人とせしむる。花わりのくみん
わりきる。松の葉に好むわりのくみん

吟よ。誠よ。くひおやせしむる。くみん。又穀の松吟のき
て。やうやく。女三年よ。おぼろ。きあ。と。身がら。くみ
ぬる。心。比。くれ。ハ。か。子。み。ご。あ。と。我。ハ。他。人。よ。ま。り
みん。と。せ。し。む。る。か。ら。と。せ。し。む。る。よ。う。ひ。ひ。と。せ。し。む。る。く
みん。と。せ。し。む。る。わ。ら。り。花。あ。ら。ひ。き。り。げ。あ。や。身。ど。ら
ろ。く。い。う。あ。る。や。あ。と。花。あ。ら。る。く。と。や。う。よ。お。や。く
き。れ。い。と。あ。る。あ。よ。の。り。と。ん。と。せ。し。む。る。坊。と。賊。室
と。せ。し。む。る。と。よ。命。復。て。我。仙。人。と。せ。し。む。る。仙。夜。を
き。る。と。と。せ。し。む。る。あ。る。と。の。と。ら。り。松。の。葉。に。好。む
と。せ。し。む。る。か。ら。入。信。と。物。あ。ら。と。せ。し。む。る。年。末。松。院

ておしりきるるあ瓶だるらび揃ふ付してさよま
 きり。か子朋友之集れどがさしひおまされ
 を園は聞る少人おぼさしつわのすり。家のに
 かこの峯はさまざらひてみまらさたこわらそ
 ひきる人いづららさし。かさくごし。時よは倍片
 山の峽はさし出る。巖のどよのがりぬつなま
 ちへのがんとたりんこと。あづくくせん。じまよおん
 て。事のやうくよ。まをせむんえん。はいにかの
 うらり。下はまねる。おらむあがりさる。はわり
 そま。まの。い。回。め。文。は。と。あ。る。人。を。と。め。る。け。松。の。息。



